

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.997
2023.6.25

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
<http://www.jcp-saitama.jp/>

松村	としお	とば	めぐみ
久保	みき	たけこし	連
金子	あきよ	池田	めぐみ

市民の願い 実現求めて7つの質問

代表質問



6月12日、6月議会本会議で、久保みき市議が代表質問に立ちました。今期初の代表質問ということで、ひとつ目に党市議団が求め続けてきた水道料金の引き下げと子ども医療費を18歳年度末まで無償にすることを求めました。長引く物価高騰で市民のくらしは大変な状況です。このような時に地方自治体は市民のくらしを応援する責務があります。しかし市の答弁は後ろ向きでした。

2つ目には「虐待禁止条例の制定」を求めました。2020年9月定例会の代表質問で久保市議が求めた時、市長は「必要があれば検討できる」とは思う。今は既存の法律、条例のなかで実効性をもっていくことが可能」と答弁していました。久保市議は、「本年2月に南区、桜区で相次いで猫の死体の一部が発見されるおぞましい事件が起きた。既存の法律、条例では不十分であることが明らかになった。今こそ、市独自の子ども、高齢者、障がい者、動物を対象とした虐待禁止条例を制定すべき」と迫りましたが市長は答弁に立たず、副市長は条例制定を否定しました。

3つ目の質問は農業支援についてでした。オ

ーガニックビレッジ宣言にむけて、計画と目標をもつことを求め、さいたま市の貴重な伝統野菜、特産物を紹介し、これらを守るためにも地産地消を進めて地域の種を守る条例の制定を求めました。市は伝統野菜、特産物の価値を認め、条例制定には踏み切らないものの種を守ることに力を注ぐ、と約束しました。

4つ目の質問はアニマルウェルフェアについてでした。緑区で鶏の平飼いをおこなっている農家を紹介し、こうしたアニマルウェルフェアの取り組みを広げるために「認証制度」を設けることを提案しました。また、と畜場でのアニマルウェルフェアを求め、市は気温と湿度の管理、および給水設備や作業員における人道的な家畜の取り扱いを約束しました。

5つ目は、犯罪被害者支援について。殺人・強盗・傷害・性暴力など犯罪被害は、被害者の心身に深刻な影響を与えます。多くの被害者はPTSDに苦しみます。治療においては臨床心

理士によるカウンセリングが必須で、本市の犯罪被害者支援条例でもカウンセリングの必要性は示されており、助成金もあります。しかし、3年以内という期限がついています。PTSD等の精神疾患は長期にわたり被害者を苦しめ、多くの被害者は働くこともできなくなり、生活保護を受けざるを得なくなります。臨床心理士等の心理療法の多くは保険外診療としておこなわれるため、到底、生活保護受給者には捻出できません。久保市議は、犯罪被害者におけるカウンセリング費用は医療扶助として認めるべきと質しました。市は生活保護法の関係で医療扶助にはならないが、「精神療法」としてのカウンセリングは保険適用となり、医療扶助の対象になるとし、被害者に寄り添った支援を約束しました。

6つ目は学校給食時間の共食を大切にすることを求めました。学校給食は食育に位置づけられ、食事を通して人間関係をよりよくすることや給食の時間が楽しい食事の時間であることが

求められます。この3年、コロナ禍で子どもたちは黙食を強いられて来ました。コロナ対策の名を借りて、子どもの権利を侵害するような実態がありました。そして今でも班にならず前を向いたまま「共食」からほど遠い給食の時間になっている学校があります。子どもたちの97%が「班にして食べたい」と回答した保護者実施のアンケート結果を示し、共食を求めた久保市議に対し、教育長は共食のすばらしさを認め「校長会でさらに強く言っていく」と答弁しました。

最後に、旧埼玉県衛生研究所跡地利用についてとりあげました。さいたま市はここにスポーツシュレを整備しようと動いています。2018年に「住みよい桜区をめざす連絡会」が市に公園と高齢者の集いの場所の設置を求める要望書を提出し、公園の設置は約束されていました。ところが、スポーツシュレの整備が決まったため、久保市議は、スポーツシュレの敷地の一部に公園の整備を求めました。



24時間使えるAEDの設置を求めて

一般質問

消防局長 2022年の救急出動件数は8万365件。119番入電から救急車到着までの時間は、2022年が平均で9.6分。

池田 命を守るのに時間も曜日も関係ない。救急隊到着までの時間に市民がAEDを使うことはますます重要と考える。そこで、公共施設等でのAEDの設置数をうかがう。

30人を越える市民が傍聴するなか、6月13日、統一地方選挙後初の6月議会で、池田めぐみ市議が初めての一般質問に立ちました。はじめに、24時間使えるAED設置を求めました。

池田 さいたま市の救急体制の現状は？

保健衛生局長 公共施設 388 台。市内の公園に 25 台。学校施設に 168 台。社会教育施設に 98 台。そのうち 24 時間使用可能な AED は、学校施設等屋外に設置した 11 台のみ。

池田 679 台のうち 11 台は、少なすぎる。夜間、休日、職員不在時に使える AED は必須。24 時間使える AED の必要性をどう考えるか。

保健衛生局長 市長部局、教育委員会ともに公共施設に 24 時間使用可能な AED を設置することで助かる命が増える可能性がある中で、必要性は高いと認識している。

池田 屋外型収納ボックスを提案する。坂戸市は、市が中心となり屋外 AED を増やしている。暑さにも寒さにも強い屋外用の収納ボックスを使い、屋外に設置することを求める。

保健衛生局長 屋外型収納ボックスについては、防塵や防水、温度管理や盗難防止など装備されている商品が複数存在する。適切に AED を管理できるか慎重に検討したい。

池田 さらに普及のためには民間の協力も必要。お店の閉店後や終電後に使える AED は少ない。東京都大田区では 24 時間使えることを条件に AED 購入補助を実施している。本市でも、AED 購入補助制度等を新設することが市民の安心安全につながると思うが、市の見解は。

保健衛生局長 民間施設への AED の設置については、自主的に取り組むことが望ましい。引き続き AED の啓発をおこなっていく。

その後、さいたま市教育委員会は 15 日、市立学校の正門などに AED を設置する方針を決めました。池田市議は「一般質問でとりあげるために消防局や地域医療課、教育委員会、市スポーツ協会などにヒアリングしてきた。教育委員会の決断はうれしい。学校の校門に屋外設置

することで、近隣住民も使いやすくなる。24 時間使える AED の設置を今後も拡大させたい」と話しました。

浦和駅周辺まちづくりは 地元の声をいかして

池田 浦和駅西口駅前整備のスケジュールと予算についてうかがう。

都市局長 市街地再開発事業の竣工予定である 2026 年度目標。事業費は、8 億 3900 万円。

池田 JR の浦和駅前の土地は 1304 ㎡。負担割合は少ないと聞いていたが、駅前の事業費のうち JR の負担分はどうか。

都市局長 舗装や排水施設等の工事費を負担する予定。

池田 再開発にともないあさひ通りが廃止され、今後、県道さいたま草加線が封鎖される。駅前の交通状況が大きく変わるが、地元の方にヒアリングしたのか。

都市局長 都市計画道路高砂岸町線を整備することで、交通を確保したい。

池田 再開発は駅前が同じ顔になることが多い。公園の充実など、浦和らしさも大切。調公園のじゃぶじゃぶ池と、平和の灯のまわりの水を復活してほしい。

都市局長 市内公園全体の老朽化対策事業における優先順位や、修繕費用がどれくらいかかるか、調査し検討していく。

駅前広場の整備にかかる負担については、調査するなかで国鉄と旧浦和市が交わした昭和 48 年の覚書が見つかり、それまで 0 円とっていた JR 負担が変更され、「舗装や排水施設等の工事費は JR が負担する」という今回の答弁を引き出すことができました。

その他、学校給食費無償化についても質問しました。

党市議団は反対

議員の海外派遣 ひとり 80 万円



6 月 8 日、さいたま市議会本会議で「議員の海外派遣」について審議がおこなわれ、賛成多数で可決されました。党市議団からは松村としお市議

が反対の立場で討論をおこないました。

今回の海外視察は、さいたま市が姉妹都市提携をしているアメリカ合衆国ペンシルベニア州ピッツバーグ市に 5 日間の日程で、かかる費用は派遣される議員 1 人あたり 80 万円としており、市議会議長を含む 4 人の議員（立憲、さいたま自民、自民党市議団、公明から各 1 名）が渡米する予定です。

松村市議は「姉妹都市への友好親善を図ることは必要だが、その際は、議会を代表する議長など参加人数を最小限にとどめることが必要だと考えている。しかし今回の議員派遣は、最小限の参加人数とは言えない。費用や行程も含め、市民の厳しい目線が議



会に注がれている」として反対しました。

また、他議員の質疑により議員の海外派遣がおこなわれる 2 日後にさいたま市立高校等の生徒がピッツバーグに研修に行く事業が予定されており、その際の高校生の自己負担は 70 万円にのぼることが明らかになりました。

文教委員のたけこし連市議は「海外派遣と中高生の研修については直接的な関連性はないものの、同じピッツバーグに行くのに議員は 80 万円が全額公費で高校生は 70 万円の自己負担があることに疑問を持つ市民もいるのではないかと話しました。

あなたの身近な議員です



市議(緑区)
松村としお



市議(桜区)
久保 みき



市議(南区)
金子あきよ



市議(見沼区)
とばめぐみ



市議(中央区)
たけこし連



市議(浦和区)
池田めぐみ